

栃木県_下野新聞2020年6月24日掲載_これまでと今後の取組

指定廃棄物 これまでと今後の取組

Q

栃木の指定廃棄物って、
今どういう状況ですか？

A

集約保管に向けた取組を
進めています。

指定廃棄物を保管いただいている農家の
負担軽減に向けた取組を進めています。
これまでの対応と、今後のステップについて
お知らせいたします。



解決に向けて、一歩ずつ前に。

指定廃棄物の処理は、国が責任を持って進めます。

農家の負担軽減に向け、 集約保管を進めていきます。

栃木県内の指定廃棄物について、平成30年11月に開催した関係市町長会議で、保管農家の方々の負担軽減を進めるため、市町ごとに暫定的に集約保管する方針となりました。集約に向けた検討にあたり、直近の指定廃棄物の放射能濃度を把握するため、令和元年度、農家(123名)が保管する指定廃棄物の放射能濃度の再測定を実施し、その結果を令和2年3月に公表いたしました。再測定の結果、重量で8割を超えるものが8,000Bq/kgを下回っていることが明らかになりました。今後は、再測定結果も踏まえ、暫定的な集約保管に向けた取組を着実に進めていきます。

これまでの流れ

平成30年11月 関係市町長会議

保管農家の方々の負担軽減を進めるため、市町ごとに暫定的に集約保管する方針となりました。



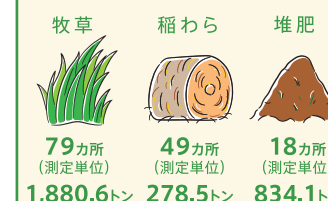
令和元年7月 関係副市町長会議

(「指定廃棄物保管農家の負担軽減策に関する副市町長会議」)

集約に向けた検討にあたり、直近の指定廃棄物の放射能濃度を把握するため、農家(123名)が保管する指定廃棄物の放射能濃度を再測定することとなりました。

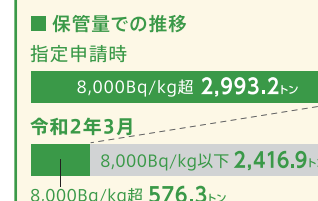
令和元年7月-11月 再測定

農家(123名)が保管する指定廃棄物(146カ所(測定単位)、2,993.2トン)の全てを対象に再測定を行いました。



令和2年3月 再測定結果公表

再測定の結果、重量で8割を超えるものが8,000Bq/kgを下回っていることが明らかになりました。



環境省

特定廃棄物に関するお問い合わせ窓口 ☎ 0120-869-444 フリーダイヤル(9:30~18:15 日祝除く)

環境省 放射性物質汚染廃棄物処理情報サイト <http://shiteihaiki.env.go.jp/>

栃木 指定廃棄物

検索

